

2020 年度  
(令和二年度)  
学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：令和2年4月1日  
至：令和3年3月31日

創立1960年・東京都知事認可・専門士称号付与校

東京英語専門学校

## 1. 学校関係者評価

### (1) 目的

自己評価の評価結果の客観性、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。社会の変化に対応した教育活動および学校運営について、評価を活用し、組織的・持続可能な学校運営を目指し、改善を図る。

### (2) 評価項目

- 1.自己評価の内容が適切かどうか
- 2.自己評価の結果を踏まえた今後の改善策が適切かどうか
- 3.学校の重点目標や具体的方策などが適切かどうか
- 4.学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

### (3) 評価期間

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）

### (4) 学校関係者評価委員会の構成

#### ① 学校関係者評価委員 2名

	氏名	所属	期間
1	坂井 学	衆議院議員 学識経験者	5年
2	錦織 晴海	株式会社千葉石材本店会長 民間企業	5年

#### ② 学校評価委員会

	氏名	所属
1	河井 達男	東京英語専門学校 理事長・学校長
2	橋本 立美	東京英語専門学校 総合事務局長
3	井口 佳代	東京英語専門学校 総務部

### (5) 実施方法

1. 「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、令和元年の学校運営について学校が自ら行った自己評価について、テレビ会議システム等を利用して学校運営の改善に役立つ学校評価を外部の学校評価委員の率直な意見を記載する。

### 2. 評価点数

4点：適切      3点：ほぼ適切      2点：やや不適切      1点：不適切

## 2. 評価結果

### (1)教育理念・目標

4点：適切    3点：ほぼ適切    2点：やや不適切    1点：不適切

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 現状

語学力を高めることだけではなく、国際交流も深め、グローバルな人材を育てるという社会のニーズを踏まえて教育目標を立てている。教育理念及び目的を定め、人材の育成および英語力の増強に力を入れている。

#### ② 課題と改善策

体験入学等で保護者への周知を心掛けているが、入学を担当する教職員だけでなく、全教職員に引き続き教育理念・目標への理解を深めてもらうようにする。

#### ③ 学校関係者評価委員会による評価

人材育成として、語学力の向上に加え、学校行事を通じて国際交流も盛んであったが、コロナの影響により、停滞してしまったことは残念である。

### (2)学校運営

4点：適切    3点：ほぼ適切    2点：やや不適切    1点：不適切

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 現状

理事会による学校運営の方針が発表され、理事長（学校長）が承認し、総合事務局長が具体的な方針を職員と共有し、具体化する。学校の運営方針、各教育活動における意思決定、学生指導方針等は、定期的の実施しているミーティングにより情報共有している。学生管理情報システムをアップデートし、迅速に学籍、出席、成績の管理がシステム化された。

② 課題改善策

テレビ会議やLINEなどを活用し、時差出勤およびテレワークが、学校運営に支障をきたすことなく、比較的スムーズに実施できるようになった。学生に統一したデバイスを提供できず、通信に関する課題が残る。

④ 特記事項

コロナのパンデミックの対策を経験し、情報システムの更新を進めている。

⑤ 学校関係者評価委員会による評価

平均して全職員がテレワークを上手く活用できるように期待する。オンライン授業もデバイスへの一層の投資・予算拡大など検討するとよい。

(3)教育活動

4点：適切    3点：ほぼ適切    2点：やや不適切    1点：不適切

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4

・関連分野にいける業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 現状

個々を重視し、英語を使ったビジネススキルおよびコミュニケーション能力を総合科目および専門科目で、段階的かつ体系的に語学力の増進を図っている。定期的な学生面談により、指導体制や授業評価等を実施し、教務部長が改善に着手している。能力別スキル別編成により、半期ごとにクラスの再編成を実施し、効果をあげている。また、TOEIC等の資格取得やスコアアップを目指したIPテスト受験を義務化しており、クラス編成にも役立てている。また、教職員の能力開発のために研修参加を勧めている。

#### ② 課題と改善策

オンライン授業により、学習や生活環境で孤立した学生にいち早く気づけるよう、教職員間での連携を深める努力が必要である。そのためには、分散するなど工夫して面談も定期的実施する。

#### ③ 学校関係者評価委員会による評価

カリキュラムに独自性があり、能力別・スキル別のクラス編成で実践的に通用する語学を習得できる環境があり、半期ごとにレベルアップもでき、客観的批評として賞賛に値する。

#### (4)学修成果

4点：適切      3点：ほぼ適切      2点：やや不適切      1点：不適切

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

#### ① 現状

就職担当を配置し、企業および学内就職説明会等を実施して求人を増やしている。積極的に、就職に関するセミナーに参加、情報収集を就職相談に生かしている。さらに TOEIC のスコアアップを目指したレベル別クラスを設置して、向上に役立てている。退学率の軽減に関し、留学生の在籍管理は以前にも増して強化している

が、審査厳格化により、不許可数が増えた点を踏まえ、入学選考を見直した。

② 課題と改善策

学成の目的に合わせた少人数または、個別指導を実施している中で、相談しやすい良い環境を維持している。コロナ禍により、出席に指導が必要な学生に焦点が当たる傾向があり、それ以外の学生との面談の機会が少なかった。

③ 学校関係者評価委員会による評価

TES 卒業生が本年度「直木賞」を受賞したため、追い風となり、学びの励みとなっている。受賞者の講演会などコロナが終息すれば開催されることを勧める。就職や進学率向上のため、資格取得や卒業後も指導を継続するといいい。

(5)学生支援

4点：適切      3点：ほぼ適切      2点：やや不適切      1点：不適切

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 現状

就職担当を配置し、企業および学内就職説明会や選考会を実施して効果を上げている。積極的に、就職に関するセミナーに参加、情報収集を就職相談に生かしている。定期的な学生面談で個々の進路相談に応じている。学生支援機構の奨学金等について専属の職員を配置して丁寧に資格要件、手続き等をサポートしている。学校独自の減免制度も学生支援の一環として長きにわたり、継続している。

学びの継続などコロナ禍で政府からの支援も学生に届くよう支援した。

② 課題と改善策

学生のアルバイト調査、低出席者の追跡を定期的に行っているが、担当だけでなく、職員が助け合いながら情報を共有し、さらに迅速に対応できるようにする。LINEを活用するため、学内で研修を行った。

③ 学校関係者評価委員会による評価

定期的な個別相談により、成果を上げており、健康管理体制もしっかりしている。学校独自の減免制度を通じて学生およびその家族の支援は充実していると評価する。中央区長および東京都知事から教育功労者と認定された TES 理事長が 227 名の表彰者と 25 団体代表として謝辞を述べた点も学生支援が評価された証である。

(6)教育環境

4点：適切 3点：ほぼ適切 2点：やや不適切 1点：不適切

評価項目	評価
・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

① 課題と改善方策

各教室には、DVD だけでなく、英語学習に適した大型モニターが設置されており、Wi-fi も利用できるよう整備した。LIVE な動画等を活用した授業も取り入れている。教材も毎年の学生評価に応じて見直している。今後は、アメリカだけでなく、英語を母国語とする国への海外研修を検討している。災害時の避難場所の周知のほか、非常食と飲料水を備蓄し、定期的に交換している。

② 学校関係者評価委員会による評価

小規模専門学校ながら様々な工夫により、学生の学力向上に効果を上げている。

(7)学生の受入れ募集

4点：適切 3点：ほぼ適切 2点：やや不適切 1点：不適切

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

① 現状

ホームページの定期的な改定および学校案内の無料配布、体験入学等で学生及び保護者が納得するまで相談に応じ、情報提供している。入学までに希望者には、複数回、体験入学や個別相談に参加できる仕組みとなっている。創立以来、設置者の意向を受け、当校独自の奨学金に代わり減免制度で、本校に入学を希望する学生およびその家族の財政的負担を軽減しており大変喜ばれている。

② 今後の改善策

体験レッスンで行う本校の体験入学が好評のため、回数を増やすことを検討していたが、例年よりやや少ない回数となった。個別相談会も学校に来なくても参加できるオンラインの会議システムを利用し、入学につながったことは、良かった。

③ 学校関係者評価委員会による評価

学生ファーストのカリキュラムや指導体制から判断し、減免額を減らしてもよいのではと助言したい。

(8)財務

4点：適切 3点：ほぼ適切 2点：やや不適切 1点：不適切

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 現状

入学者数は、毎年定員を97%以上満たしており、財政基盤は安定している。

収支動向はバランスの取れたもので、銀行・信用金庫からの借入金ゼロ経営を継続して安定している。

決算の会計監査は適正であり、当該税務署の3年置きに行う定期的調査も記帳なども正確で信頼が高く、本校の理事会だけでなく、税務署上層部の評価も、その都度「適正な正直記帳」との定評があると担当調査官から漏れ聞きしている。

② 学校関係者評価委員会による評価

歴史の長い英語専門学校として、安定した経営を長年落差なく維持しており、外部の眼から見ても、信頼できる。

s

(9)法令等の遵守

4点：適切 3点：ほぼ適切 2点：やや不適切 1点：不適切

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

① 現状

各種関係法令に遵守しており、コンプライアンス精神の周知徹底に努めている。個人情報保護については、入学要項およびホームページにも明文化されており、周知と管理を適正に行っている。学生全員に STUDENT GUIDEBOOK（日本語・英語）を配布して、周知徹底に努力している。

② 学校関係者評価委員会による評価

東京都および中央区の学事部の指示に従い、管理を適正に実行していると評価する。

(10)社会貢献・地域貢献

4点：適切      3点：ほぼ適切      2点：やや不適切      1点：不適切

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む受託等を積極的に実施しているか	4

① 現状

言語だけでなく、その背景となる異文化事情も学べる英語教育を大切にしている。ボランティア活動を行う学生には、個々の状況に任せている。緊急時には、地域に学校の施設を提供する準備があり、AEDも設置してある。災害時の備蓄食品および必要と推定される薬品を保管している。

② 今後の改善策

学生が個人的時間の余裕があれば、地域の人々と触れ合う機会を作っていくべきと考える。学校周辺の美化運動など出来ることを実行していきたい。そのような活動を通して、学生の母国の異文化と日本文化の交流に貢献していきたいと思っている。

③ 学校関係者評価委員会による評価

学生の本分は修学であるが、可能な限り、ボランティア活動に参加できる機会をつくることをすすめる。

(11)国際交流（必要に応じて）

4点：適切    3点：ほぼ適切    2点：やや不適切    1点：不適切

評価項目	評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

① 現状

長きにわたり、海外十数か国からの留学生を受け入れており、輩出した多くの卒業生が母国で、または日本で国際貢献に従事するなど活躍している。VISA 取得のサポートだけでなく、日本での基本的なマナーや生活習慣の指導も欠かさず行っている。日本の大学や海外の大学へ進学する本校の学生にそれぞれの出身国からの教師が学習支援を惜しまずに対応している。

② 課題と改善策

留学生の在籍管理については、特にアルバイトは、必ず資格外活動の範囲内で行うことを継続的に指導していく方針である。

③ 学校関係者評価委員会による評価

留学生の管理体制は、真摯にかつ適正に行われていると判断する。将来的には、海外からの直接募集も視野に入れるとよいと提案した。